

Economic Indicators

発表日: 2024 年 7 月 26 日 (金)

主要経済指標予定 (2024 年 7 月 29 日～8 月 2 日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(7 月 29 日～8 月 2 日の主なイベント、指標予定)

	指 標 名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
7 月 29 日 (月)					
7 月 30 日 (火)	8:30 6 月労働力調査 完全失業率	2.6%	2.6%	2.5%～2.6%	2.6%
	8:30 6 月一般職業紹介状況 有効求人倍率	1.23 倍	1.24 倍	1.22 倍～1.26 倍	1.24 倍
	金融政策決定会合(～31 日)				
7 月 31 日 (水)	8:30 5 月サービス産業動向調査 売上高(前年比)	—	—	—	+3.1%
	8:50 6 月鉱工業指数・速報 生産(前月比)	▲6.3%	▲5.0%	▲6.4%～▲3.5%	+3.6%
	8:50 6 月商業動態統計・速報 小売業販売額(前年比)	+3.2%	—	—	+2.8%
	14:00 6 月住宅着工統計 新設住宅着工戸数(前年比) (季調値年率)	▲2.0% 79.8 万戸	▲2.0% —	▲3.4%～+1.8% —	▲5.2% 81.3 万戸
	14:00 6 月消費動向調査 消費者態度指数(一般世帯、季調値) 日銀総裁定例記者会見	—	—	—	36.4
8 月 1 日 (木)	14:00 7 月新車販売台数 乗用車(前年比)	—	—	—	▲6.9%
	軽乗用車(前年比)	—	—	—	▲4.3%
8 月 2 日 (金)	8:50 7 月マネタリーベース (前年比)	—	—	—	+0.6%

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



6月完全失業率／有効求人倍率 当社予想：2.6％／1.23倍 中央値：2.6％／1.24倍

企業の人手不足感は強い状況が続いているが、足元で求人増加に陰りがみられる。景気に回復感が欠けていることが影響している可能性があるため、今後の動向を注視する必要がある。

(シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴)

6月鉱工業生産指数 当社予想：前月比▲6.3% 中央値：同▲5.0%

6月の鉱工業生産を前月比▲6.3%と予想する。5月末に新たに発覚した自動車認証不正問題の影響で、輸送用機械を中心に生産計画を下振れる可能性が高い。仮にこの数値が実現すると、4-6月期は前期比+2.0%となり、1-3月期の落ち込みを取り戻すに至らず回復は限定的に留まりそうだ。

(副主任エコノミスト：大柴 千智)

6月小売業販売額 当社予想：前年比+3.2%

自動車販売の持ち直しが寄与することで、小売業販売額は増加が見込まれる。もともと、物価高の悪影響により消費に下押し圧力がかかっている状況は変わらず、均してみれば消費は停滞感の強い状態が続いている。

(シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

